



「チョシケ、チョシケ」と励ましの掛け声とともに、太鼓と鉦かねが打ち鳴らされる。



鮮やかな装いの一行が田んぼのあぜ道を通って奉納場所へ向かう。



花笠の飾りには鷹の羽を模したものや富士山などが描かれる。

実りの秋、豊作を願って踊り継がれる農村の祭り
平安時代、平氏の武将・斎藤実盛が敵と戦っていた際、馬が稲の切り株につまずいて倒れ、不覚にも討たれてしまい、実盛の怨霊が虫となり稲を害するようになったと言われ、追いつめられています。虫追踊は、実盛の怨霊を追い払い、その年の豊作を祈願するまじないの意味を込めて踊り継がれてきました。

現在、大里地区の水田にある塚かした さねもい（上ン実盛ドン）下ン実盛ドン）など十数カ所で奉納されています。踊り手は、幼児から年配者まで、地元農家をはじめ保存会の家族や市来農芸高校生、その卒業生ら30人程度。背に差した色とりどりの長い矢旗を揺らしながら、太鼓や鉦かねで軽快なリズムを奏でます。稲穂が垂れる美しい田園風景とともに、親から子へと継承されています。



【いちき串木野市】

市指定無形民俗文化財
虫追踊むしおい おどり

毎年、大里地区で豊作を祈願して行われる郷土芸能「虫追踊」をご紹介します。

祭りの舞台

大里地区

開催日： 毎年9月22日頃(秋分の日)
(今年は中止)

住 所： いちき串木野市大里

TEL： 0996-21-5128
(いちき串木野市教育委員会社会教育課)

